

➤ 29日 水曜

ヨハネ



8:21 イエスは再び彼らに言われた。「わたしは去って行きます。あなたがたはわたしを捜しますが、自分の罪の中で死にます。わたしが行くところに、あなたがたは来ることができません。」

8:22 そこで、ユダヤ人たちは言った。「『わたしが行くところに、あなたがたは来ることができません』と言うが、まさか自殺するつもりではないだろう。」

8:23 イエスは彼らに言われた。「あなたがたは下から来た者ですが、わたしは上から来た者です。あなたがたはこの世の者ですが、わたしはこの世の者ではありません。」

8:24 それで、あなたがたは自分の罪の中で死ぬと、あなたがたに言ったのです。わたしが『わたしはある』であることを信じなければ、あなたがたは、自分の罪の中で死ぬことになるからです。」

8:25 そこで、彼らはイエスに言った。「あなたはだれなのですか。」イエスは言われた。「それこそ、初めからあなたがたに話していることではありませんか。」

8:26 わたしには、あなたがたについて言うべきこと、さばくべきことがたくさんあります。しかし、わたしを遣わされた方は真実であって、わたしはその方から聞いたことを、そのまま世に対して語っているのです。」

8:27 彼らは、イエスが父について語っておられることを理解していなかった。

8:28 そこで、イエスは言われた。「あなたがたが人の子を上げたとき、そのとき、わたしが『わたしはある』であること、また、わたしが自分からは何もせず、父がわたしに教え

られたとおりに、これらのことを話していたことを、あなたがたは知ようになります。」

8:29 わたしを遣わした方は、わたしとともにおられます。わたしを一人残されることはありません。わたしは、その方が喜ばれることをいつも行うからです。」

8:30 イエスがこれらのことを話されると、多くの者がイエスを信じた。

イエス様が語っておられることは、救われた私たちにはよく分ります。「去る」とは天に帰られること、「罪の中で死ぬことになる」とは死のさばきを意味していることは明白です。しかし、救われていない人にはわかりません。救いの真理は聖霊によって目が開かれなければ、わからないからです。

私たちが信じたのは、自分の理解力ではなく、ただ神様の恵みであることを忘れないで、感謝しましょう。また謙遜でありましょう。

「多くの者がイエスを信じた。」とあります。同じことを聞いても、イエス様を拒絶する者と信じる者に分かれるのです。ですから伝道など主のわざには、誰でもが信じて変わるような万能のことばや方法論があるわけではありません。聖霊によるのです。そしてその時に、救いに備えられた人がいるのです。効率や効果的な方法を探すよりも、主に頼り聖霊の力によるほうが、はるかに前進できるものです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

